※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新 高校の数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	書き込み式シリーズ　パラレルノート　数学Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では毎回プリントを使用し、板書を写したり問題を解いたりして授業後に提出します。内容を理解して問題を解き、丸付け等で確認するといった流れで、発表やグループワークなども行います。毎回の授業プリントは評価がつけられて次の授業で返却されるので、ノートを準備し、順番に貼って保管してください。提出物は、授業プリントが毎回の授業ごとに、授業プリントを貼ったノートなどが考査前にあります。また Google classroom を用いた課題もありますのでしっかりと取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・基本的な計算ができるようになる。
・学んだ単元の概念や良さを理解し、計算ができるようになる。
・自分が分かったこと、気づいたりできるようになったことを周囲と共有したり発表したりすることができる。
・失敗や間違いに気づき、原因を分析し振り返ることで自らの学習に活かすことができる。
・学習した内容を振り返り、知識を定着させるとともに自ら主体的に学習に取り組む態度を身に着ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測、数学と社会生活における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けるとともに事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して数列、統計的な推測、数学と社会生活の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列、統計的な推測、数学と社会生活で学んだ数学的な考えに関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。また自ら学習を振り返り学びのポイントや失敗をその後の学びに活かすことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列	数列 ● 数列 ● 等差数列 ● 等差数列の和 ● 等比数列 ● 等比数列の和	a: 等差数列や等比数列の一般項を求めることができる。等差数列や等比数列の和の公式を利用することができる。 b: 数列の一般項や和の求め方を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c:一般項や和の公式とその求め方に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。また自らの学習を振り返り、到達度を把握することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 提出物 振り返り課題
	数列	● 和の記号 ● いろいろな数列の和 ● 階差数列 ● 和の求め方の工夫	a:数列の和をシグマの公式を使って，適切に問題を解くことができる。シグマの記号について，理解している。 b:いろいろな数列について既習の内容から数列のつくりを考察することができる。数列の変化に注目し一般項が想像できる。 c: 数列を用いた問題に関心をもち，積極的に解こうとしている。また自らの学習を振り返り、到達度を把握することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 提出物 振り返り課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	数列・統計的な推測	● 漸化式と一般項 ● 数学的帰納法 ● 統計的な推測 ● 確率変数と確率分布 ● 確率変数と期待値 ● 二項分布 ● 二項分布と期待値・分散・標準偏差 ● 正規分布 ● 二項分布の正規分布による近似	a: 漸化式から一般項を求めることや，確率分布や期待値、分散。標準偏差を求めることができる。確率分布と二項分布、正規分布ついて基本的な事柄を理解し，知識を身につけている b: 確率変数を用いて事象を考察したり，その過程を振り返ったりすることなど，統計的な見方や考え方を身につけている。数学的帰納法の考え方を理解することができる。 c: 漸化式や帰納法の考え方・統計的な推測に関心をもち，その有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。また自らの学習を振り返り、到達度を把握することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 提出物 振り返り課題
	統計的な推測	統計的な推測 ● 母集団と標本 ● 標本平均の分布 ● 母平均の推定 ● 母比率の推定 ● 仮説検定	a: 標本平均の期待値や標準偏差を求めることができる。母平均や母比率の信頼区間を求めることができる。 b:推定の考え方や仮設検定の考え方を理解することができる。身の回りの事象について統計的なものの見方や処理を行うことができる。 c:統計的に推測する考え方に関心をもつとともに，それらを数学的推論の過程の考察に活用しようとしている。仮設検定の考え方に興味を持つ。また自らの学習を振り返り、到達度を把握することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 提出物 振り返り課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	数学と社会生活	● 数学を用いた考察 ● 社会で用いられる数値や指標 ● 変化をとらえる	a:教科書の題材について計算によって値を求めることができる。数学で学んだ内容と身の回りの事象を関連付けて理解することができる。 b:自ら身の回りの事象について考察し、数学的な問題として理解・処理しようと試みることができる。 c:身の回りの事象について興味を持ち、数学的な性質の分析に関心を持つ。生活の中の数学に気づき、自らの学習を振り返り、到達度を把握することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	ワークシート 提出物 振り返り課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度